

● 7月30日（土） 曇 積丹岳（1225m）

○ 5時起床。 雨は止んでうっすらと青空も見える。
洗顔もそこそこに5時半に道の駅「あかいがわ」を出発し積丹半島をめざす。
途中の美国漁港海岸に駐車公園があったのでそこに車を止め、海を眺めながら朝食をとった。ときどき朝日が射して気持ちが良い。

・ 国道 229 号線を北上し積丹町・積丹牧場入口に「積丹岳登山口」の標識があるからそこを左折して林道を少し走る。

・ 林道終点の登山口駐車場に7時半着。
立派な山小屋がある登山口で、去年も来ているから懐かしい。室蘭ナンバーの車が1台来ている。

・ 山小屋の中にある登山者帳に記入して 7:40 出発。
6時半に2人パーティーが入山している。

・ 来る途中は天気良かったのに登り始めるとすぐにガスが出てきた。やれやれ今年も天気良くないか。雨が降らなければいいが。天気良くないのにめちゃくちゃ蒸し暑くもう全身汗でびしょり濡れている。



・ すでに花の季節も終わったのか 咲いている花はエゾアジサイ、ツルアジサイくらいでめぼしい花は何も無い。と思ったら8合目を過ぎたあたりでランに出会った。名前がよくわからないのでとりあえず写真に撮って先を急いだ。（後で調べたらキソチドリらしいことがわかった。）

・ このあたりはオトギリソウがたくさん咲いていた。



山頂近くで下りてくる若いカップルとすれ違った。わたしの前に入山していた室蘭ナンバーの車の人らしい。「今日初めて人に会った」と喜んでた。

- ・11時山頂に到着。ガスが立ち込め視界ゼロ、何も見えない。おまけに風が強く、岩陰で風を避けて食事をとった。食事後即下山。下るにしたがい天気が良くなり14時に着いた登山口では陽も射していた。途中8合目あたりで登ってくる若い？カップルとすれ違い、5合目あたりで登ってくる外人と出会った。「これから山頂まで行くの？」「しばらく登って適当なところで引き返してくる」と日本語がペラペラ。「気をつけてね」。登山口山小屋の登山者帳に下山時刻を記入しながら見たら「北大」と書いてある。北大の学生か。



- ・水場で汚れた靴を洗っていると、下り途中ですれちがったカップルがもう下りてきて、さっさと車で下って行った。続いてあの外人も下りてきて山小屋に入って行った。車が無いのにどうするのだろう。この山小屋に泊まるのかな、それとも私が乗せて行くのだろうか？山小屋から出てきたので話しかけた。「北大の学生さんですか？」「北大で環境学の先生をしています」と。どうりで日本語がうまいはずだ。アメリカ人で北大に9月までいて次は東北大へ行くという。「北海道の自然がすばらしく、いろいろ山の中を歩き回っている。車は少し下に止めてここまで歩いて登ってきた」と。ヒグマについて聞いてみたら、ヒグマの知識がほとんど無いので驚いた。よく今まで無事で山の中を歩いていたものだ。北海道のヒグマについていろいろと詳しく説明し、登山道以外を歩くと危険だよと教えてあげた。「北海道には各所に森林管理事務所があるからよく相談して歩くといい」と忠告してあげた。
- ・3時過ぎまでいろいろお話をし、彼を残して山小屋を後にした。天気はすっかり回復し真夏の太陽が射している。今日の宿泊地は昨日と同じ道の駅「あかいがわ」に決め、今朝来た道を引き返した。
- ・赤井川は晴れていて道の駅には車もかなり止まっている。そばにある赤井川温泉で汗を流しビールで夕食。今日の「積丹岳」、天気は悪く花も殆どなく、今年最初の山としてはあまり良いスタートでは無かったが、2年越しで征服し程よい疲れと満足の中8時に眠りについた。
- ・今日の泊まりの車は10台以上ある。けっこう家族連れも多い。そうか夏休みの土曜日だからな！

● 7月31日(日) 晴
移動(赤井川からニセコ～定山溪)

- 4時40分起床。外は晴、10台位止まっている。今日の予定はニセコアンヌプリだ。



道の駅「あかいがわ」の朝

- ・朝食後6時に道の駅「あかいがわ」を後にしてニセコへ向かった。7時前に道の駅「ニセコビュープラザ」に着いたが駐車場は車で一杯、なんとかスペースを見つけて車を止めた。赤井川を出る時はあんなに天気良かったのにここはどんよりと曇っている。羊蹄山はおろかニセコアンヌプリも全然見えない。今日ニセコアンヌプリに登るのは止めた！

まだ朝早いのにさてこれからどうしようか。

- ・あらためてこの道の駅「ニセコビュープラザ」を見まわしてみると何と云うことだ！ 日本中の車が集まってきている。大宮、千葉、広島、八王子、水戸、群馬、秋田、山形、滋賀、岐阜、三重、伊豆、沼津、野田、青森・・・。まあよくもこんなに集まって！ みんなここで泊まっている。さらに続々と車がやってきて、広い駐車場は満車。入りきれず道路に長い車の列が出来ているし、さらに続々とやってくる。係員が4、5名で交通整理をしている。私は毎年この道の駅を利用してきているが、いつもこんな状態だ。なんでこんなに人気があるのだろうか？
- ・パソコンを開いて天気予報を見ながらこれからの計画を練った。予定では明日は黒松内岳に登るのだが、どう見ても天気が悪い。中山峠を越えて東の方へ行くと天気が良さそうだ。今日はこれから東へ向かい明日は札幌岳に登ろう。今年の旅の帰りにまたこの辺りを通るから、黒松内岳はその時に登ることにしよう、と決めた。
- ・昨日の積丹岳で汗まみれになった下着類を水洗いしたあと、札幌岳の登山口・定山溪に向けて昼前にニセコを後にした。真狩で昼食休憩し、留寿都は素通りして中山峠へ。



満車のニセコ道の駅

- ・中山峠にある道の駅は「望羊中山」と云うので目の前に羊蹄山が聳えて見えるはずだが、羊蹄山はすっぽりと雲の中に隠れ何も見えない。毎年のようにこの中山峠を通っているが、羊蹄山はいつも雲の中で、目の前に聳える羊蹄山を見る「望羊」の記憶は殆ど無いな。今年もダメだった。



- ・「望羊中山」の観光案内所のお姉さんに「定山溪でどこか車を止めて泊まれる所は無いかな」と聞いてみたら「確か駐車公園みたいなものがあつたと思う」とラッキーな情報をもらった。そういえば私も何かそのような所があつたような記憶がある。期待を抱いて中山峠を東へ下った。
- ・天気はどんどん回復し、真夏の太陽が照りつけてメチャ暑い。定山溪の温泉街に入るちょっと手前にその駐車場があつた。



- ・札幌開発建設部の施設で、24 時間トイレ完備の広い駐車場。北海道の国道沿いにはこのような施設を、建設省や国交省、環境省等がけっこうあちこちで作っていて、私も度々利用させてもらっている。ちょうど札幌岳の登山口のそばで絶好のロケーション、今夜はここに泊まることに決定。それにしても日差しが暑いのに木陰がなく今は灼熱の地獄だ。
- ・汗が噴き出しているので以前にも利用したことのある小金湯に汗を流しに行った。片道7km余、日帰り温泉「小金湯」入湯料 750 円。以前はこの施設のすぐ下にあった松の湯に入ったことがあるが、今回は立派な日帰り温泉「小金湯」が出来ていた。なかなか良い風呂だった。(ちなみに松の湯は旅館で、日帰り入浴もまだあるらしい)
- ・5 時過ぎに駐車場に戻り夕飯の支度をしていたら突然雨が降り出し、それもものすごい降りの豪雨。30 分くらい降ってカラッとあかり涼しくなった。夕食をとって7時前に就寝。周りには車が1台もない。今夜ここに泊まるのは私一人かな？ 慣れてはいるがちょっと寂しいな。
- ・明日は札幌岳へ。おやすみ。